

ロシア・バレエ鑑賞の楽しみ方



(株)ロシア旅行社

2013年12月作成
担当:中出

現状とこれからのバレエの方向性

ロシアといえばバレエ。ロシアのモスクワとサンクトペテルブルクでは最高のクラシックバレエを見ることができます。

ペテルブルグにはワガノワバレエ学校、モスクワにはポリショイバレエ学校という伝統ある舞踊学校があり、優秀な卒業生はそれぞれマリインスキー劇場またはポリショイ劇場に迎え入れられます。コールドバレエ(群舞)のレベルの高さはこのような伝統の中で生まれます。

劇場も才能あるダンサーの発掘には熱心です。ポリショイ劇場の芸術監督フィーリンとコンドラチェワがワガノワ・バレエ学校の卒業公演でオリガ・スミルノフを見初めて、2011年卒業と同時にファースト・ソリストとして迎えています。今後の活躍が期待される踊り手です。

入団したバレエダンサーは技術的には相当のレベルにあり、その中で秀でた者たちが、ファースト・ソロイスト、リーディング・ソロイスト、プリンシパルへと昇格していきます。また、引退したダンサーは教師となり、若手舞踊家を指導します。

2011年にプリンシパル・ダンサーとなったニーナ・カプツォワはニーナ・セミゾーロワから、エカチエリーナ・シプーリナはマリナ・コンドラチェワから、エカチエリーナ・クルイサーロワはスヴェトラナ・アテイルハートワから指導を受けるなどして、このようにしてポリショイ劇場の伝統が引きつがれます。

ポリショイ劇場では同じ演目は何日も続くことがあります。演目が同じでも配役が異なります。それぞれ個性的な解釈で踊りますので、注意してみてください。素晴らしい解釈と思われましたら惜みなく拍手を送りましょう。

ポリショイ劇所のレパートリーは主にミンクスのドン・キホーテ、チャイコフスキーの3大バレエを中心としたクラシック・バレエですが、最近は海外の劇場との交流もさかに行われ、マツ・エックを招聘したり、コンテンポラリーにも力を入れるようになりました。またプリンシパル・ダンサーに初めてアメリカ人のデービッド・ホルバークを迎え入れ、スヴェトラナ・ザハーロワは客演でミラノ・スカラ座のプリンシパル・ダンサーとしても活躍するなど交流を深めています。

マリインスキー劇場についても同様に古典バレエに固執するのではなく、バランス、フォーサイス、クランコ、ドゥアトラの作品を積極的に取り上げコンテンポラリーにも力をつけ両劇場とも総合的に実力をつけつつあります。ぜひこの機会に本場のバレエを見に行きましょう。

バレエの見所

ロシア・バレエの主な出し物は「白鳥の湖」、「眠りの森の美女」、「クミ割り人形」、「ドン・キホーテ」などクラシック・バレエの作品が多く、これらの作品はグラン・パ・ド・ドウ形式をとっており、1番の見どころとなります。

グラン・パ・ド・ドウ形式は通常、男・女二人で踊る抒情的なアダージョ、男性舞踊手の踊り、女性舞踊手の踊り、そして男女二人で踊る華やかなコーダの4つの部分に分かれます。最後のコーダを頂点として男女技巧を凝らした踊ります。

「白鳥の湖」、「ドン・キホーテ」での最終曲(コーダ)では何度の高い片足での32回転(フェット)があります。最近の舞踊手ではダブル・フェット、トリプル・フェットという本来1回転することを2回転したり3回転する踊り手がありますので、そのような場合は32回以上になります。すぐれた踊り手は軸足をずらさず、1枚の切手のスペースで踊るとのことです。

男性舞踊手は、跳躍(ジュテ)を注意してみてください。高い跳躍、着地時にドシンドシンと音のしないところがロシアのバレエ・ダンサーの特徴です。

パ・ド・ドウの他に白鳥の湖、クミ割り人形などには、スペインの踊りのような性格的な踊りを集めた楽しい舞踊があります。

パ・ド・ドウは二人の踊りですが、3人で踊るパ・ド・トロワ、4人で踊るパ・ド・カトル、6人で踊るパ・ド・シスがあり、それぞれ独舞があり、最後は華やかなコーダで締めくくられます。

群舞(コールド・バレエ)でも、「ジゼル」の第2幕で妖精たちがアラベスクで交差する場面やバヤテルカの「影の王国」の精霊たちの踊りという見どころがあります。

また、美しい衣装も注意してみてください。

鑑賞時の服装

必ずしも、正装の必要はありませんが、劇場はもともと社交の場ですので現地の方は着飾って劇場に訪れています。お客様も、このような機会は是非着飾って観劇されることをおすすめします。

ボリショイ劇場のダンサー達

2011年に新しく3名がプリマ・バレリーナ(プリンシパル)に指名されました。
また、マリインスキー劇場からエフゲニヤ・オブラスツォワが移籍しています。
従来どおり、ベテランのスヴェトラナ・ザハーロワ、マリーヤ・アレクサンドロワ、スヴェトラナ・ルンキナ等も活躍しています。
メイン・ステージも新しくなり、素晴らしい舞台を鑑賞することができます。



ニーナ・カブツォーワ

ロシア連邦功労芸術家(2010年)
ロスト・ナ・ドヌー生まれ、国立モスクワ・アカデミー舞踊学校卒業(リュドミラ・レパートリー)
マリー(くるみ割り人形)、オーロラ姫(眠りの森の美女)、ジゼル、ジュリエット、キトリ(ドン・キホーテ)、スワニルダ(コッペリア)、フリギヤ(スパルタカス)、エスメラルダ、リーザ(スペードの女王)、他



エカテリーナ・シブリーナ

2005年に「黄金の豎琴」コンクールで優勝。
2009年ロシア共和国功労芸術家
ペルミ生まれ、89年から94年までペルミ舞踊学校94年から98年までモスクワ(リュドミラ・リタフキナに師事)、卒業後入団。マリーヤ・コンドラチェワ、タチャナ・ゴリコワに指導を受けていたが、現在はナジェージダ・グラチョワの指導を受けている。
レパートリー
メド-ラ(海賊)、グリナラ(海賊)、ジャンナ(パリの炎)エメラルド(宝石)、エギナ(スパルタクス)、オテット-オティール(白鳥の湖)他



エカテリーナ・クルイサーノワ

2008年北オセチア・アラニア共和国功労芸術家

モスクワ生まれ、1995年バレエをはじめ。2003年モスクワ国立アカデミー舞踊学校(タチャナ・ガリツエワに師事)卒業後入団。スヴェトラナ・アティールハーノワの指導を受けている。



オリガ・スミルノワ

将来期待されるボリショイ劇場若手ソリスト
2009年ロシア舞踊学校コンクールで優勝、ミハイロフスキー劇場グランプリ受賞。
サンクトペテルブルク生まれ、2011年ワガノワバレエ学校卒業(リュドミラ・コワリョワのクラス)。教師によると、ヴィシニョワのように理解の早い生徒だったとのこと。
ワガノワバレエ学校在籍中にボリショイ劇場のフィリン、コンドラチェワの目に止まり、卒業と同時にボリショイ劇場にファースト・ソリストとして入団。
現在指導はマリーヤ・コンドラチェワがあたっている。



アルチョム・オフチャレンコ

ウクライナのドニエプロペトロフスク生まれ。ドニエプロペトロフスク国立舞踊学校、その後モスクワ国立舞踊学校(アレクサンドル・ボンダレンコのクラス)

2007年卒業後、ボリショイ劇場に入団。現在プリンシパル
主なレパートリー

2007年

フランスの踊り(葦笛の踊り、くるみ割り人形)

2008年

くるみ割り人形王子

2009年

フランツ (コッペリア)

ジエイムス (ラ・シルフィード)

アルベルト (エスメラルダ)

2010年

ロミオ (ロミオとジュリエット)

ペトルーシカ (ペトルーシカ)

ジャン・ド・ブリアン (ライモンダ)

ヴィリソン卿ータオル (ファラオの娘)

2011年

アルベルト伯 (ジゼル)

アントアン・ミストラル (パリの炎)

テジレ王子 (眠りの森の美女)

2012年

学生 (アニュータ)

ジークフリート王子 (白鳥の湖)

クルプスキー公 (イワン雷帝)



ヴラジスラフ・ラントラートフ

モスクワ出身、父親は80年代頃にダンチェンコ劇場で活躍していたワレリー・ラントラートフ。

2006年にモスクワ国立舞踊学校(教師:イリヤ・クズネツォフ)を卒業、ボリショイ劇場に入団。

ミハイル・ラヴロフスキーとワレリー・ルガーノフに師事。

現在、筆頭ソリスト

最近の主なレパートリー

2009年

ヴァリフリド (ジゼル)

フロラン (エスメラルダ)

2010年

ベルナール (ライモンダ)

フォーチュン王子 (眠りの森の美女)

2011年

くるみ割り人形王子

フェブ (エスメラルダ)

アルベルト伯 (ジゼル)

バジル (ドン・キホーテ)

2012年

ソロル (バヤテルカ)

チャイコフスキー三大バレエのあらすじと見所

チャイコフスキー作曲 バレエ 「眠れる森の美女」

振付・演出:マリウス・プティパ

主な登場人物

オーロラ姫 ティジレ(テザイア=希望)王子、王(フロレスタン14世)と王妃、
リラの精と他の6人の妖精達、 邪悪の精カラボス、 シャルル・ペローの童話の登場人物達

(内容)

プロローグ「オーロラ姫の洗礼」

フロレスタン14世のお城、オーロラ姫が生まれたので洗礼式が行われます。

洗礼式に6人の妖精が招待され、それぞれオーロラ姫に授けものをします。

そこへ招待されなかったカラボス(悪の妖精)は怒りとともに現れオーロラ姫は16歳の誕生日に紡ぎ針を指して死ぬと呪いをかけます。

まだ授けものを与えていなかったリラの精が、オーロラ姫は死ぬのでは無く100年の眠りに付き王子の口づけにより目覚めるとい魔法をかけます。

第1幕「オーロラ姫と4人の求婚者達」

第5曲 a) 序奏

16年の時が経ちました。編み物をする女性達は紡ぎ針を持っていると厳しい罰がありますよと警告されます。

王が登場し怒りますが、王妃がなだめます。

続いて村人達による有名な花のワルツが踊られます。

ワルツが終わるとついに16歳になったオーロラ姫が拍手とともに登場します。

美しいハーブの序奏でバラのアダージョがオーロラ姫と4人の求婚者によって踊られます。

ここは見どころで、音楽も聞きどころになります。

老婆に化けたカラボスが現れオーロラ姫に紡ぎ針を渡します。

オーロラ姫は珍しい紡ぎ針を持ち踊りますが針がささり倒れてしまいます。

カラボスは姿を現し勝ち誇りますが、そこにリラの精が現れて皆を眠りにつかせます。

第2幕第1場「テジレ王子の狩」(幻影)

1幕から100年たったころ、テジレ王子が森で狩りをしています。

まずテジレ王子の一行が踊っています、貴婦人達の踊りもあります。

一行が狩りに出発して、テジレ王子が残るとリラの精が現れます。

リラの精はテジレ王子にオーロラ姫の幻影を見せます。

この場面は音楽も美しく見どころになります。

有名な「パノラマ」の音楽とともに王子はリラの精とともにオーロラ姫の眠る森へ向かいます。

王子はオーロラ姫に口づけし皆が目覚めます。

第3幕「テジレ王子とオーロラ姫の結婚式」

オーロラ姫とテジレ王子の結婚式が行われます。

シャルル・ペローのお伽話に登場する人物達が行進曲とともに登場します。

最初に金・銀・サファイア・ダイヤモンドの精達が踊ります。

続けて、長靴をはいた猫と白い猫の踊り、シンデレラ姫とフォーチュン王子の踊り、青い鳥とフロリーネ姫の踊り、赤ずきんと狼の踊り、親指小僧と人食い鬼が順に踊られます。

特に青い鳥とフロリーネ姫は難度の高い踊りで有名ですので注意して見ましょう。

最後に全幕の見どころとなるオーロラ姫とテジレ王子によるグラン・パ・ド・ドウが踊られます。

終曲アポテオーズはアンリ4世を讃える唱歌(フランス王国国歌)のメロディと共に幕が閉じられます。

チャイコフスキー作曲 バレエ 「白鳥の湖」 作品20

1877年3月4日にモスクワのボリショイ劇場バレエ団により、ヴェンツェル・ライジンガーの振り付けで初演。結果は、失敗でした。チャイコフスキーの死後、1895年1月15日 サンクトペテルブルクでマリンスキー劇場バレエ団により、マリウス・プティパ及びレフ・イワノフの振り付けで蘇演、オテット・オテイルはレニャーニが踊りました。これによりこの作品の真価が認められました。

演奏時間 全曲で約2時間半

この作品は、ドイツの作家ムゼウスの童話「奪われたペール」を元に作られた作品。舞台はドイツ。音楽は全29曲からなります。

主要な登場人物

王妃、ジークフリート王子、ウオルフガング(家庭教師)、ベンノ(友人)、道化、オテット(白鳥の女王)
ロットバルト(通常はふくろうの姿をした悪魔)
オテイル(ロットバルトの娘、第3幕でオテットに姿を似せて変身する、バレエではオテットとオテイルは1人2役で踊る)

音楽

第1幕(王宮の庭)

序奏に続きワルツが踊られ王妃が登場します。
王妃はジークフリート王子に成人式には花嫁を選ぶように言います。
王子は憂鬱な気分です。
王子の友達ベンノ達が3人でパ・ド・トロワを踊ります。
さらに、道化の踊り、乾杯の踊りが続き、王子は気晴らしに湖に狩りに出かけます。

第2幕(湖のほとり)

有名な情景の音楽で始まります。2幕全体は幻想的な場面です。
湖に白鳥が降り立ち、そこへ王子が現れ、オテットと出会います。
オテットは悪魔ロットバルトに呪いをかけられ永遠の愛のみが彼女を救えることを物語ります。
オテットと王子による美しいグラン・アダージュ、4羽の小さな白鳥たち、3羽の大きな白鳥達の踊り、白鳥の女王(オテット)の踊りが続きコーダで締めくくられます。王子はオテットを救うことを約束します。
最終曲は2幕の最初の音楽と全く同じ音楽である情景で幕が閉じられます。

第3幕(王宮の舞踏会)

ファンファーレと共に様々な国から花嫁の候補たちが登場します。
ハンガリー、ロシア、スペイン、ナポリ、ポーランドの踊りが順に踊られます。
そこへ悪魔ロットバルトがオテットに化けた娘オテイル(黒鳥)を連れて登場します。
有名な王子とオテイルによる「黒鳥のパ・ド・ドウ」が踊られます。
王子はオテイルをオテットと思い込み永遠の愛をオテイルに誓います。
窓の外でオテットは悲嘆にくれています。
ロットバルトは勝ち誇り娘オテイルを連れてその場を去ります。

第4幕(湖のほとり)

湖では白鳥達が悲しみにくれています。
そこへ王子が現れ、王子はロットバルトに戦いを挑みますが、王子とオテットは死んでしまいます。
二人は昇天して結ばれることとなります。
ハッピーエンドの演出の場合は真実の愛が悪を滅ぼし、白鳥達の呪いがとけるといストーリーになります。



チャイコフスキー作曲 バレエ「くるみ割り人形」作品71

毎年、モスクワのボリショイ劇場で大晦日に取り上げられるバレエ作品。

原作はE.T.A.ホフマンの童話「くるみ割り人形とはつかねずみの王様」
台本はマリウス・ブティバ、振付がレフ・イワノフによって1892年12月17日にサンクトペテルブルグのマリンスキー劇場で行われました。

音楽は全曲で約1時間半、全2幕で比較的コンパクトな作品。

内容

第1幕

クリスマスの夜、マリーの家にお客様が集まります。
そこへ不思議な紳士ドロツセルマイヤーが現れ、人形を躍らせたりして子供達を楽しませています。
ドロツセルマイヤーはマリーにクルミ割り人形をプレゼントします。
マリーはすぐにクルミ割り人形を気に入ってしまいます。
ですが、兄のフリッツが悪戯をしてクルミ割り人形をこわしてしまいます。
マリーは悲しみますがドロツセルマイヤーが直してくれます。
お客さまが帰り、時計が夜の12時を打つと魔法が始まります。
クリスマスツリーがどんどん大きくなっていきます。(クララが小さくなっているのをあらわしています)
ネズミの大様の軍隊とクルミ割り人形側の人形達の軍隊が闘いを始めます。
人形の軍隊が苦戦しているところマリーがスリッパをネズミの大様に投げつけネズミ達は退散します。
クルミ割り人形は王子に変身し冬の松林を越えマリーをお菓子の国へ連れて行きます。

第2幕

マリーとクルミ割り人形はお菓子の国に到着。
チョコレート(スペイン)、コーヒー(アラビア)、お茶(中国)、トレパーク(ロシア)、あし笛の踊り(フランス)が
順に踊られ
有名な花のワルツの後に、全幕の見せ場となる金平糖の精の踊りを含むパ・ド・ドウが踊られます。
最後にマリーは目覚めて、これらのことが夢であったことがわかります。



ロシア・旧ソ連圏の主な劇場一覧

モスクワ

○ボリショイ劇場

Bolshoy theater

Address: Teatralnaya (Theatre) square, 4/2

Ticket office: tel. +7 (495) 455-5555 sales@bolshoi.ru

○モスクワ音楽劇場(ダンチェンコ劇場)

Moscow Academic music theater named after Stanislavski and Nemirovich-Danchenko

Address: Bolshaya Dmitrovka street, 17

Booking office +7 (495) 650-23-93

○ノーヴァヤ・オペラ

Moscow theatre "New Opera"

Address: st. Karetny Ryad (Hermitage Garden), 3

TEL: +7 495 694-08-68

サンクトペテルブルグ

○マリインスキー劇場

Mariinsky (Kirov) Ballet and Opera

Address: Teatralnaya (Theatre) square, 1

TEL:+7 812 326-41-41

○ミハイロフスキー劇場

Mikhailovsky Classical Ballet and Opera Theatre

Address: Iskusstv square, 1

TEL:+7 (812) 595-43-05

○エルミタージュ劇場

Hermitage Theatre of Classical Russian Ballet

Address: Dvortsovaya Embankment, 34

TEL; (812) 710-90-79

ペルミ

○チャイコフスキー記念ペルミ国立劇場

Perm Academy Theater named after Tchaikovsky

Address: Ulitsa Petropavlovskaya, д. 25a, Perm

TEL:+7 342 212-30-87

ノボシビルスク

○ノボシビルスク国立劇場

Novosibirsk Acacemy Theater

Krasnyy prospekt, 36, Novosibirsk, Novosibirsk Oblast

TEL:+7 383 227-15-37

ウラジオストク

○プリモルスク・オペラ・バレエ劇場

PrimorskTheater

Fastovskaya ul. Vladivostok

TEL:7 (984) 140-5185

ベラルーシ・ミンスク

○ベラルーシ共和国ボリショイ劇場

Belorus Bolshoy theater

Address: 1 Pl. Parizhskoy Kommyny , Minsk

Tel:+375 (17) 334 10 41

ウクライナ・キエフ

○シェフチェンコ記念キエフ国立オペラ劇場

Ukraina Kiev National Opera Theater

Address: ul.Vladimirskaya 50

TEL: 234 71 65